

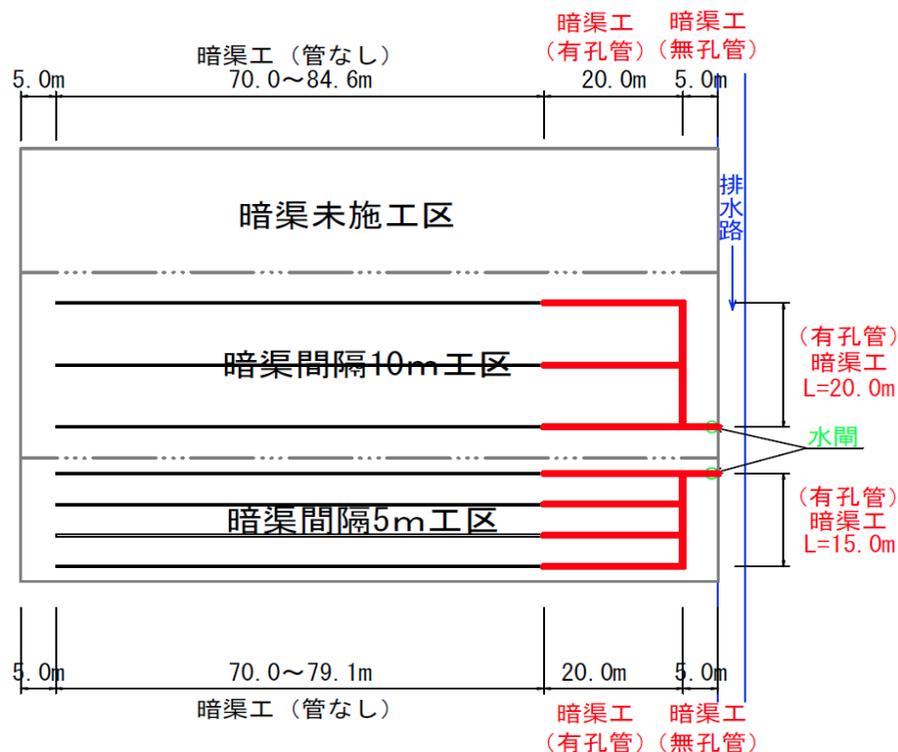
◆ 簡易な暗渠排水整備による作付け実証試験

田子町では、水田の転作作物としてニンニクを栽培しています。排水性の悪い水田で高品質のニンニクを育てるためには暗渠排水整備が必要ですが、農家の直営施工が難しいこと、整備費が高いことがニンニク生産拡大の支障となっています。

そこで、通常の暗渠排水整備より安価かつ簡易な整備工法を実証するため、平成29年度から田子町において「簡易な暗渠排水整備による作付け実証試験」を開始しました。

試験結果が良好であれば、他の場所にも広め、中山間地域の水田の畑地化による高収益作物の振興を図る予定です。

◆ 暗渠排水整備 イメージ図



◆ 整備の特徴

暗渠管は下流部20mのみに入れ、残りは碎石のみとしています。

また、暗渠には勾配をつけず、水平に施工しています。

このような工法で効果が確認できれば、比較的安価で簡易な暗渠排水整備が可能となります。



◆ 整備方法

幅の狭いバケツで深さ60cmの溝を掘り、溝に碎石を充填し暗渠とします。

暗渠に集まった水は、下流部20mに入れた管から、水田の排水路に流下させます。

整備後、暗渠を整備した区画では雨水が速やかに排水されていることが確認できました。



● 生育状況の調査 (平成29年11月～平成30年7月)

試験ほ場は、暗渠間隔5m工区、暗渠間隔10m工区、暗渠未施工の3種類としてあります。

今後は、それぞれの工区に植えたニンニクについて生育状況を調査し、本工法の効果の検証を継続していく予定です。

